



第4回 テーマ「新庁舎に必要な機能・施設の配置」

第4回市民ワークショップを平成29年5月27日(土)に開催し、33名の方々にご参加いただきました。第4回と第5回の2日間を使って、「新庁舎に必要な機能・施設の配置」について、意見交換し、各班の考えをまとめていただきます。

第4回では、これまでのワークショップで出た意見を踏まえ、必要な機能、施設のゾーン分けを行い、それを新庁舎のどのフロアに配置するか話し合い、最後に模造紙にまとめ、各グループの代表の方から発表をしていただきました。

A班の意見発表

- 市民利用の多い1階フロアを中心に議論を進めた。
- 重視したのは福祉関係である。高齢者や障がい者の対応が一番気になるところで、1階の一番良い場所に置くことを検討した。
- まず1階フロアの中央に、来庁者がくつろげるような360°見渡せる円形の待合スペースを設け、その周囲を取り囲むように福祉関係の窓口・執務室があるのが理想ではないかと考えた。



新庁舎に必要な機能のゾーン分け

系統 (ゾーン)	具体的な機能・設備
人に優しい福祉ゾーン	高齢者
	年金・医療
	障がい者
	子供(子育て)
	相談コーナー
	仕切り有り
	対面デスク
	個室
	対面(人と人)で銀行のようなプライバシーの守り方
	車椅子が入る机(1~2箇所)
福祉・総務	通路を広くする
	表示板を低めに
	マーク
	色
窓口ゾーン	広く見渡せる
	導線
	フロアの真ん中に市民の待ち合いスペースを! 盆踊りの屋台のように 360°見渡せる

B班の意見発表

- 庁舎に来た人が、迷わずにスッと目的の場所に行けることを第一に考えた。
- 入ってすぐのところに「受付ゾーン」を設け、そこにフロアの案内人を置き、用件を確認して該当の場所に案内する。
- 1階は「受付ゾーン」と「福祉ゾーン・年金」を置き、2階には「市民ゾーン」として現在の市民室のような部門を持ってきて、3階には「教育ゾーン」として現在3号館の1階にあるような機能を持ってくる、というように考えた。



新庁舎に必要な機能のゾーン分け

系統 (ゾーン)	具体的な機能・設備	
最短の滞在時間を指 す	受付 ゾーン	総合案内(行き先案内)
		フロアマネージャー
迷わず分かりやすい	相談窓口	
福祉ゾーン	障がい福祉課	
	プライベート相談室	
	高齢介護室	
市民ゾーン	市民室	
教育ゾーン	こども未来室	
	指導室	
	教育委員会	
	立体駐車場	

C 班の意見発表

- コンセプトは「活力と賑わいあふれるスマイル新庁舎」
- 相談窓口や部署をどうするかではなく、人がどのように集まるかをメインに話し合った。
- 現在道路上にあるバス停を敷地内に入れ、バスやタクシーが乗り入れできるロータリーを作ってはどうか。
- 防災広場を設け、市が主催する自転車教室等のイベントを開くなど、多目的に利用できればよい。
- 半屋外のピロティを設けておけば、災害時の物資の受け入れや運び出しがしやすいのではないかと。
- 建物内については、1階には窓口を置かず、市内企業の広告や商品、巨大なジオラマなどを設ける。
- 2～4階に相談窓口や各部署を配置し、5階には議場兼大ホールを設ける。
- 6階のテラス部分には憩いの広場を設け、同じ階に食堂・喫茶や、和泉市の特産品を扱う売店などを集める。



新庁舎に必要な機能のゾーン分け

系統 (ゾーン)	具体的な機能・設備	
活力	市のジオラマ	
	市内企業の広告スペース	
	観光案内スペース	
	特産品・企業の製品の展示スペース	
賑わいあふれる	木材(和泉産)の活用	
	就職案内スペース	
	足湯付	
	若い人が来なくなる機能(体験教室スペース)	
	子育てを支援できる機能(家賃補助・無料保育等)	
	キッズスペース	
	大阪府構想を見据えた機能	
市の問題を要望でき、議論できる市民スペース(おしゃべりカフェ)		
駐車ゾーン	駐車場の多目的利用	
議場ゾーン 5F	議場の多目的利用	
サービスゾーン 6F	最上階の展望空間(いこいの広場)	
	特産品販売スペース	
	コンビニ(イトイン含む)・食堂・喫茶	
(その他)	Free Wifi	
	太陽光発電	
スマイル(新庁舎)	未来ゾーン 1F	将来の空きスペース活用(利用)
	防災広場ゾーン	防災広場(アーケードのようなもの)(屋外 屋根付)
	案内ゾーン 1F	案内スペース(土日案内含む)
	アクセスゾーン	休日の市民窓口対応スペース
	職員の仕事の質を向上させる機能(あいそ)	
	バス停	

D 班の意見発表

- コンセプトは「シンプルで使いやすい、スピーディ」
- 総合窓口を設置して、手続きだけをしに来た人と相談したい人をそこで振り分ける。
- 1階には子どもや高齢者・障がい者に対応する部署を集約することで、車椅子やベビーカーを使用する人がなるべく上の階に行かなくて済むようにする。
- 建物の奥行き方向にエスカレーターを2基設置し、市民室、税金、保険・年金といった部署を2階にする。
- 議場は最上階(8階)に設置してはどうか。
- 子どもの転校等の相談に対応する教育委員会は別の組織なので、3号館側に置いてはどうか。
- 駐輪場はなるべく雨にぬれないように、3号館側とコミュニティセンター側に置く。



新庁舎に必要な機能のゾーン分け

系統 (ゾーン)	具体的な機能・設備
子ども対応ゾーン	子どもづれの窓口
	子どもが待っているスペース
	キッズスペース
高齢者・障がい者対応ゾーン	高齢者の窓口
	障がい者の窓口
	長い時間の対応要
	プライバシー保持のための個別ブース
窓口機能	別の打合せスペース(窓口とは別)
	障がい者用のエスカレーターの設置
	タイフーンに耐えた窓の設置と(総合)事前案内
	定型の手続き(証明)窓口
アクセス	多様なニーズに応える相談窓口
	証明書の受取
	書類(住民票など)提出
	屋根付の駐輪場
その他	駐車場の台数確保
	駐車場の有料化
	コミセン用の駐輪場の確保
	シンプルな議会議場
	防災の企画・指揮
	来庁者用の食堂・レストランは不要

E 班の意見発表

- 大きく3つのコンセプトがあり、「利用しやすく対応しやすいシンプルな機能の庁舎」、「安心・安全」として防災面での危機管理、「憩いの場」
- 現状、周辺道路から車でアクセスがしにくく、歩道も十分でないため、車や自転車、歩行者の、庁舎へのアクセスのしやすさも考えてもらいたい。
- 庁舎内については、3号館も1階ととらえて、市民室や福祉関係の執務室等、普段市民がよく利用する部門は基本的には1階に配置してほしい。
- また1階には、憩いの場となるカフェや、和泉市をアピールする展示スペースもあればよいのではないかと、という意見もあった。また、6階の屋上部分に庭園を設け、それを眺められるところにレストランがあってもよい。



新庁舎に必要な機能のゾーン分け

系統 (ゾーン)	具体的な機能・設備
利用しやすく対応しやすいシンプルな機能の庁舎	市庁舎に入り易い道路整備(進入路の確保)
	自転・車・舗道の確保
	駐車場・駐輪場の無料時間制限
	駐車場・駐輪場のスペース確保
	エスカレーター 1F～3Fぐらい
	総合案内所・タッチパネル案内板(外国語)・案内(人)係
	ダンジリ・古い街並みのジオラマ・観光用市民が作る
安心・安全	高齢介護室 1階に 障がい福祉課 市民課
	こうべ・だれでもトイレ(オストメイト対応)
	キッズスペース 1階か2階
	(防災)危機管理センター オペレーションルーム 2階
憩いの場	防災拠点 本部となる 1階
	震災対応 再生可能エネルギー発電
	屋上庭園(緑化)(低木)
	1階 カフェ(小規模)
	6階 レストラン